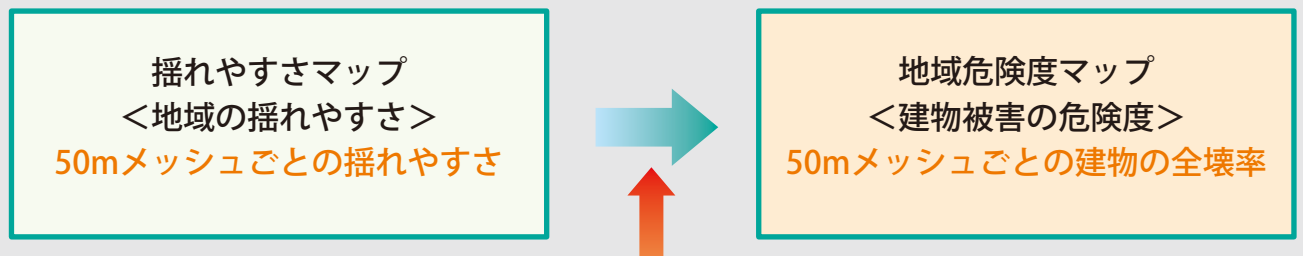


地域危険度マップ

Seismic Hazard Map based on the Percentage of Total Collapse

「地域危険度マップ」とは

地震時の揺れによる建物被害の危険分布を相対的に示したものです。「揺れやすさマップ」に示す地盤表面の揺れによって建物が全壊すると予想された割合を「危険度」として表示したものです。
50mメッシュ内の揺れが強い地域に古い住宅があると危険度が高くなります。



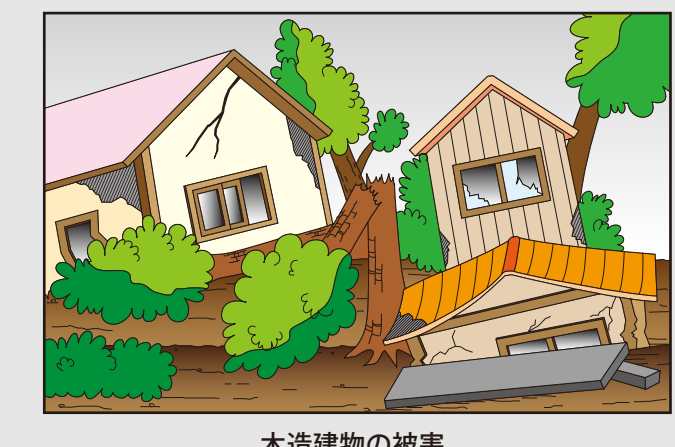
木造建物の耐震化チェックポイント

1. 建てたのは昭和56年(1981年)5月以前である。
2. 過去に地震、浸水、火災被害などに見舞われたことがある。
3. 壁や基礎にひび割れがある。風で揺れる、傾いているなど老朽化が進んでいる。
4. 建物の平面形状や、偏った窓・開口部などがある。壁が少なく耐震性に問題がある。

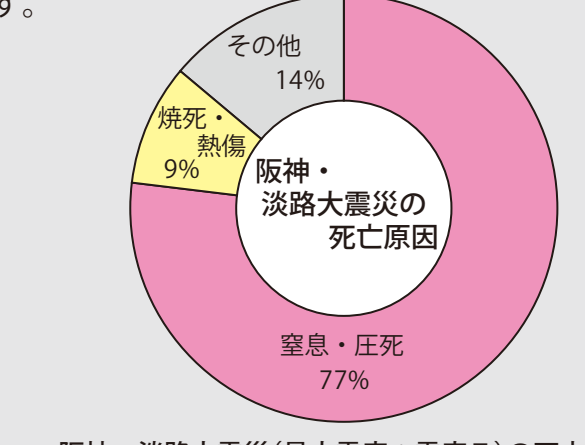
「あなたの生命財産を守るため、住宅・建物の一部、または全部の耐震化が急務です。」

恐ろしい地震被害

地震による死亡の原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災での死者の約80%を占めています。



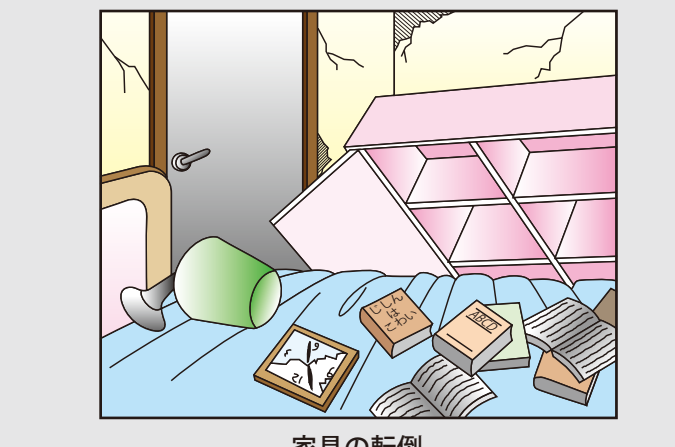
木造建物の被害



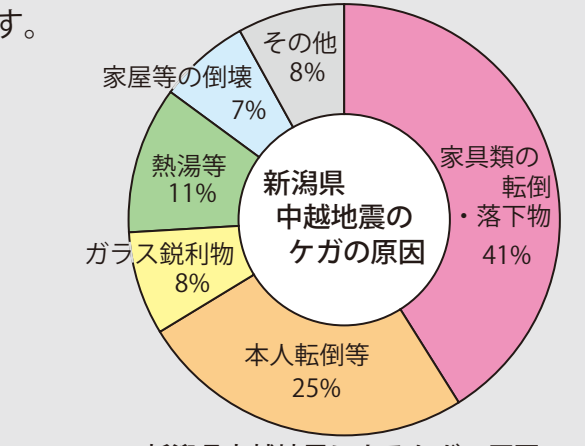
阪神・淡路大震災(最大震度：震度7)の死亡原因
「阪神・淡路大震災調査報告 総集編」阪神・淡路大震災調査報告編集委員会(2000)、厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況」(1995.12)より作成

家具・家電の耐震対策も忘れずに!

住宅の倒壊を免れても家具が転倒し、テレビ、電子レンジなどが飛び、ガラスの破片は一瞬にして凶器となり大けがの原因となります。新潟県中越地震によるケガの40%以上が家具の転倒・落下とされています。また、ケガをすることで、その後の避難行動に大きな支障が生じます。



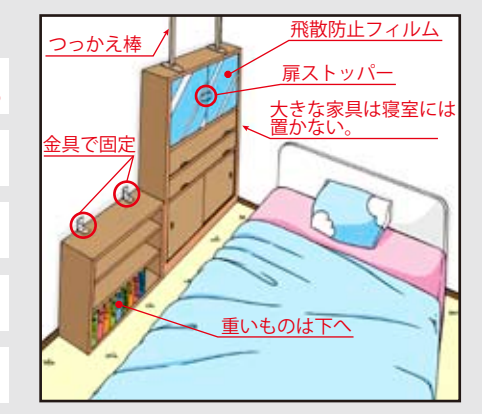
家具の転倒



新潟県中越地震によるケガの原因
「新潟県中越地震における人的被害に関する現地調査結果」東京都消防庁(2004)より作成

家具転倒防止のチェックポイント

- 自宅を確認しましょう。
1. 寝室・避難経路となる場所に大きな家具・家電を置かないように。
 2. 重い物は下へ収納し、軽い物を上へ置くようにしましょう。
 3. 大型の家具・家電は、転倒防止金具で固定しましょう。
 4. 棚は、飛び出し防止に扉スッパを取り付けましょう。
 5. 整理・整頓し、ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。



避難時の心がけ いざという時あわてず、冷静に! —災害用伝言ダイヤル 171—

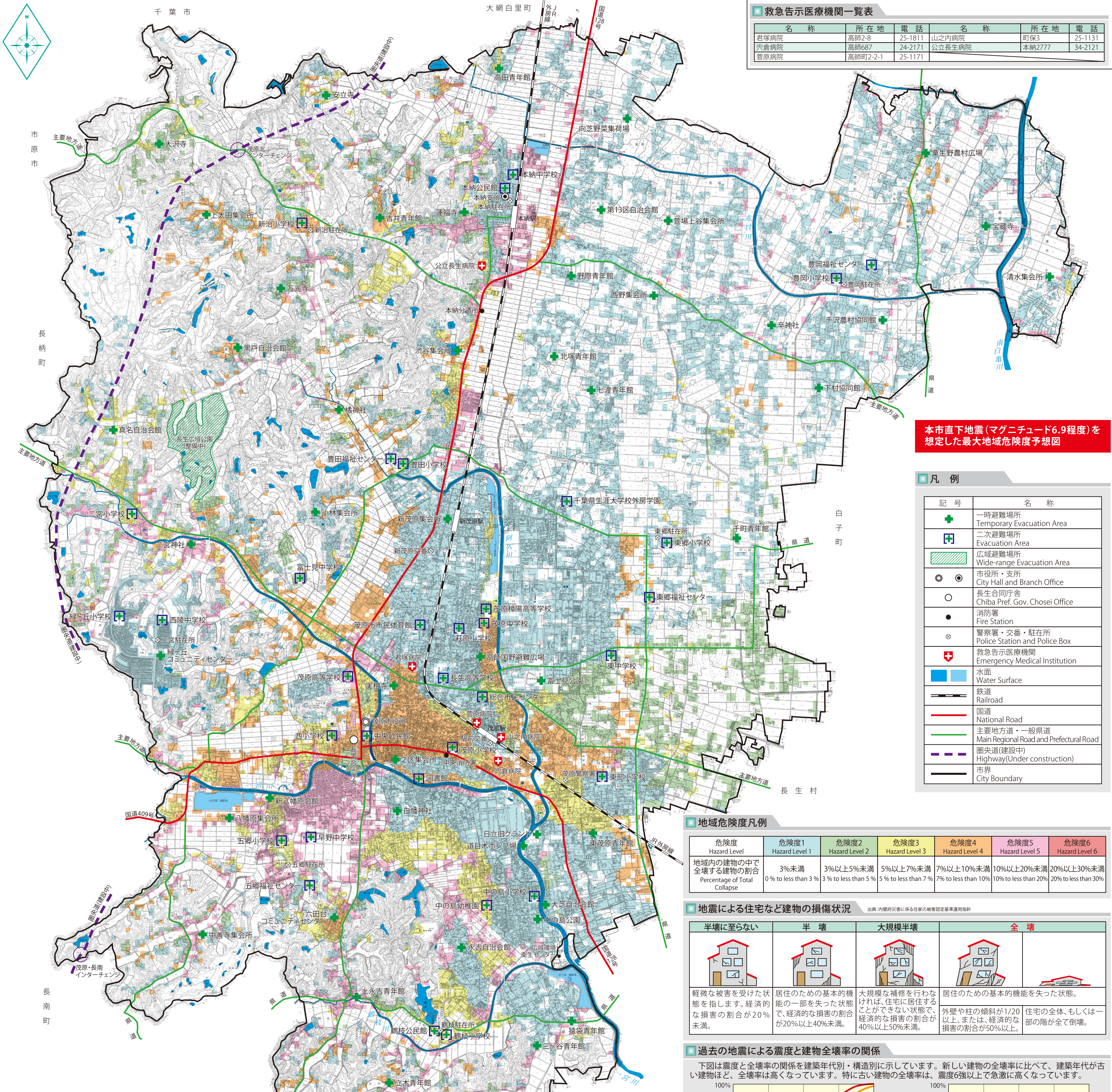
戸締り・火元の確認	正確な情報収集を家族との連絡方法確認	避難場所や経路の確認	非常持出品の確認
避難する前に戸締り、ガスの元栓、電気のブレーカーを確認しましょう。	ラジオ、携帯電話、防災無線で最新の災害情報、避難情報に注意しましょう。また、家族での連絡方法を決めておきましょう。	地図上で家族の避難場所と避難場所までの危険箇所や安全な経路を確認しましょう。家族やご近所同士、避難経路を実際に歩いてみましょう。	災害に備えて食料を備蓄し、懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池なども準備しておきましょう。避難時にはすぐに持ち出せるようにまとめておきましょう。

防災関係機関一覧表

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
茂原市役所	道表1	23-2111	伊NTT東日本千葉	—	113
関東農政局千葉農政事務所地域第2課	萩原町3-20	23-1205	東京電力千葉電力センター	—	0120-99-5552
東上総県民センター	茂原1102-1	22-1711	大多喜ガス(株)茂原事業所	茂原661	24-6151
長生健康福祉センター	茂原1102-1	22-5167	茂原市長生郡医師会	八千代1-5-4	24-3285
長生地域整備センター	茂原1102-1	24-4521	長生市市長生郡消防本部	茂原598	24-0119
千葉県茂原警察署	早野新田7	22-0110	同上 水道部	高師395-2	23-9491
東日本旅客鉄道南茂原駅	町保1	22-2642	同上 環境衛生課	下永吉2101	23-4944

救急告示医療機関一覧表

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
君塚病院	高師2-8	25-1811	山之内病院	町保3	25-1131
穴倉病院	高師687	24-2171	公立長生病院	本納2777	34-2121
菅原病院	高師町2-2-1	25-1171			



本市直下地震(マグニチュード6.9程度)を想定した最大地域危険度予想図

凡例

記号	名称
+	一時避難場所 Temporary Evacuation Area
+	二次避難場所 Evacuation Area
■	広域避難場所 Wide-range Evacuation Area
●	市役所・支所 City Hall and Branch Office
○	長生合同庁舎 Chiba Pref. Gov. Chosei Office
●	消防署 Fire Station
⊗	警察署・交番・駐在所 Police Station and Police Box
+	救急告示医療機関 Emergency Medical Institution
■	水面 Water Surface
—	鉄道 Railroad
—	国道 National Road
—	主要地方道・一般県道 Main Regional Road and Prefectural Road
—	圏央道(建設中) Highway(Under construction)
—	市界 City Boundary

地域危険度凡例

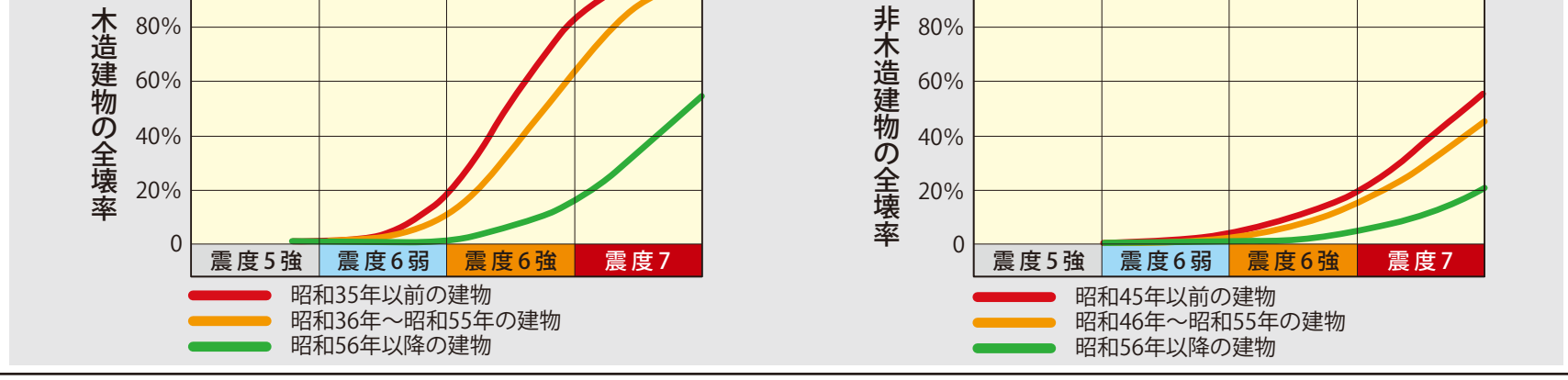
危険度 Hazard Level	危険度1 Hazard Level 1	危険度2 Hazard Level 2	危険度3 Hazard Level 3	危険度4 Hazard Level 4	危険度5 Hazard Level 5	危険度6 Hazard Level 6
地域内の建物の中で全壊する建物の割合 Percentage of Total Collapse	3%未満 0% to less than 3%	3%以上5%未満 3% to less than 5%	5%以上7%未満 5% to less than 7%	7%以上10%未満 7% to less than 10%	10%以上20%未満 10% to less than 20%	20%以上30%未満 20% to less than 30%

地震による住宅など建物の損傷状況

半壊に至らない	半壊	大規模半壊	全壊
軽微な被害を受けた状態を指します。経済的な損害の割合が20%未満。	居住のための基本的機能の一部を失った状態で、経済的な損害の割合が20%以上40%未満。	大規模な補修を行わなければ、住宅に居住することができない状態で、経済的な損害の割合が40%以上50%未満。	居住のための基本的機能を失った状態。外壁や柱の傾斜が1/20以上、または、経済的な損害の割合が50%以上。住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊。

過去の地震による震度と建物全壊率の関係

下図は震度と全壊率の関係を建築年代別・構造別に示しています。新しい建物の全壊率に比べて、建築年代が古い建物ほど、全壊率は高くなっています。特に古い建物の全壊率は、震度6強以上で急激に高くなっています。



地域危険度マップ

1:22,500
0 100 500 1,000 1,500m